

2023 年度第 7 回愛知医科大学病院

治験審査委員会会議の記録の概要

開催日時 2023 年 10 月 3 日 (火) 16 : 30~17 : 15

場 所 愛知医科大学 会議室

出席者 高見昭良、奥村彰久、瓶井資弘、佐々木誠人、丹羽淳一、大西正文、中山忍、葛谷孝文、辻巻健太、市川光生、澤田佳紀、古川洋志、高木潤子、井上里恵

○審議事項

I 治験の新規申請の実施判定について

1. ワイドネック型脳動脈瘤コイル塞栓術に用いる TCD-12261 の多施設共同単群試験

(テルモ脳神経外科)

治験責任医師からの治験の概要説明、現在までに得られている臨床成績の資料等に基づき、当院での治験実施の妥当性について審議した。

審議結果：承認

II 治験の実施状況報告、契約内容・実施計画内容変更、継続について

1. ファイザー株式会社の依頼による PF-06865571 および PF-05221304 の第II相試験

(ファイザー肝胆膵内科)

治験分担医師および治験協力者の削除について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

2. 自己免疫性肺胞蛋白症 (aPAP) の成人患者に対するモルグラモスチム吸入液 1 日 1 回吸入投与時の多施設共同無作為化プラセボ対照二重盲検比較試験

(パレケル・インターナショナル呼吸器・アレルギー内科)

治験薬概要書の変更、Thankyou card ver1.0、トートバッグ画像について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

3. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Staccato alprazolam の第III相試験

(ユーシービージャパン小児科)

治験薬概要書補遺、説明文書と同意書、治験介護者の方への説明文書と同意書の変更、治験の実施状況及び費用の改訂について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。

審議結果：承認

4. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Staccato alprazolam の第Ⅲ相継続試験
(ユーシービージャパン 小児科)
治験薬概要書補遺、説明文書と同意書、治験介護者の方への説明文書と同意書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
5. 日本新薬株式会社の依頼による NS-304 の後期第Ⅱ相試験 (日本新薬 血管外科)
治験実施計画書の変更、治験実施期間の延長、期間延長に伴う費用について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
6. 活動性甲状腺眼症の日本人患者を対象に HZN-001 (teprotumumab) を評価する第Ⅲ相無作為化二重遮蔽プラセボ対照並行群間比較多施設共同試験 (シグマ 眼形成・眼窩・涙道外科)
治験実施計画書の変更、治験分担医師の削除について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
7. 慢性 (非活動性) 甲状腺眼症の日本人患者を対象に HZN-001 の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相無作為化二重遮蔽プラセボ対照並行群間比較多施設共同試験
(シグマ 眼形成・眼窩・涙道外科)
治験分担医師の削除および追加、バイオマーカー検体の採取量について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
8. 小野薬品工業株式会社の依頼によるてんかんを対象とした ONO-2017 (cenobamate) の第Ⅲ相試験
(小野薬品工業 精神神経科)
被験者の募集の手順 (広告等) に関する資料について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
9. 武田薬品工業株式会社の依頼によるドラベ症候群及びレノックス・ガストー症候群患者を対象とした TAK-935 (soticlestat) の第 3 相試験
(武田薬品工業 小児科)
治験費用に関する契約書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
10. 株式会社新日本科学 PPD (治験国内管理人) の依頼による類天疱瘡成人患者を対象としたエフガルチギモド PH20 SC の第 2/3 相試験
(新日本科学 PPD 皮膚科)
治験実施計画書、説明文書、同意文書の変更、Protocol clarification letter、私の来院カレンダー、水疱性類天疱瘡に関する治験のご案内について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

11. ナルコレプシー患者を対象とした治験薬の有効性及び安全性を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第Ⅲ相試験 (アキュスファーマー睡眠科)
Fitbit Luxe 利用マニュアル、Fitbit Luxe 再セットアップマニュアルの変更、患者日誌 (カタプレキシー収集)、治験の実施状況及び費用の改訂について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
12. 中外製薬株式会社の依頼による新生血管を伴う網膜色素線条患者を対象とした RO6867461 (ファリシマブ) の第Ⅲ相試験 (中外製薬—眼科)
治験実施計画書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
13. 協和キリン株式会社 (治験国内管理人) の依頼によるアトピー性皮膚炎患者を対象とした AMG 451 単剤療法 の第Ⅲ相試験 (協和キリン—皮膚科)
治験実施計画書、日本特有の治験実施計画書の補遺、Rocatinlimab 治験についての同意説明文書、Rocatinlimab 治験 薬理遺伝学的検査研究に関する同意説明文書 (任意)、被験者への支払いに関する資料、治験参加カードの変更、Rocatinlimab 治験 妊娠追跡調査に関する同意説明文書について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
14. 中外製薬株式会社の依頼による第 I / II 相臨床試験 (中外製薬—眼科)
治験実施計画書、説明文書・同意文書の変更について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
15. 寒冷凝集素症 (CAD) 患者を対象として Pegcetacoplan の有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験 (シミック—血液内科)
治験の実施状況及び費用の改訂について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

Ⅲ 新たな安全性情報の入手による継続について

1. クロウン病患者を対象として、risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験 (アグヴィー—消化管内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

2. 潰瘍性大腸炎患者を対象として risankizumab の有効性及び安全性を評価する多施設共同無作為化二重盲検プラセボ対照 52 週間維持療法試験及び非盲検継続投与試験
(アッヴィー消化管内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
3. 中等症から重症の青少年及び成人アトピー性皮膚炎患者におけるウパダシチニブの第Ⅲ相無作為化プラセボ対照二重盲検試験
(アッヴィー皮膚科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
4. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Brivaracetam (ucb34714) の第Ⅲ相長期継続投与試験
(ユーシービージャパン精神神経科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
5. 滲出型加齢黄斑変性患者を対象に高用量アフリベルセプトの有効性及び安全性を検討する無作為化二重遮蔽実薬対照第Ⅲ相試験
(バイエル薬品－眼科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
6. バイエル薬品株式会社の依頼による糖尿病黄斑浮腫患者を対象とした高用量アフリベルセプトの第Ⅱ/Ⅲ相試験
(パレケル・インターナショナル－眼科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
7. 中外製薬株式会社の依頼による第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験
(中外製薬－眼科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
8. ノボルディスクファーマ株式会社の依頼による非アルコール性脂肪肝炎患者を対象とした NN9535 の第Ⅲ相試験
(ノボルディスクファーマ－肝胆膵内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
9. ノバルティスファーマ株式会社の依頼による増殖糖尿病網膜症を対象とした RTH258 の第Ⅲ相試験
(ノバルティス ファーマ－眼科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

10. 未治療 CD20 陽性 B 細胞性濾胞性リンパ腫患者を対象とした IDEC-C2B8-SC の臨床第Ⅲ相試験 (全薬工業－血液内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
11. PRA ヘルスサイエンス株式会社の依頼による日本人小児成長ホルモン分泌不全性低身長症患者を対象とした lonapegsomatropin の第 3 相試験 (PRA ヘルスサイエンス－小児科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
12. PRA ヘルスサイエンス株式会社の依頼による成人成長ホルモン分泌不全症の患者を対象とした lonapegsomatropin の第 3 相継続投与試験 (PRA ヘルスサイエンス－内分泌・代謝内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
13. 中外製薬株式会社の依頼による加齢黄斑変性患者を対象としたファリシマブの継続投与試験 (中外製薬－眼科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
14. 中外製薬株式会社の依頼による新生血管を伴う網膜色素線条患者を対象とした RO6867461 (ファリシマブ) の第Ⅲ相試験 (中外製薬－眼科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
15. 武田薬品工業株式会社の依頼によるドラベ症候群患者を対象とした TAK-935 (soticlestat) の第 3 相試験 (武田薬品工業－小児科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
16. 武田薬品工業株式会社の依頼によるドラベ症候群及びレノックス・ガストー症候群患者を対象とした TAK-935 (soticlestat) の第 3 相試験 (武田薬品工業－小児科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
17. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Staccato alprazolam の第Ⅲ相試験 (ユーシービージャパン－小児科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

18. ユーシービージャパン株式会社の依頼による Staccato alprazolam の第Ⅲ相継続試験
(ユーシービー ジャパン 小児科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
19. 日本新薬株式会社の依頼による NS-304 の後期第Ⅱ相試験 (日本新薬 血管外科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
20. アムジェン株式会社の依頼による掌蹠膿疱症を対象とした AMG 407 (アプレミラスト) の
第Ⅲ相試験 (アムジェン 皮膚科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
21. 活動性甲状腺眼症の日本人患者を対象に HZN-001 (teprotumumab) を評価する第Ⅲ相無作
為化二重遮蔽プラセボ対照並行群間比較多施設共同試験 (シグマ 眼形成・眼窩・涙道外科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
22. 慢性 (非活動性) 甲状腺眼症の日本人患者を対象に HZN-001 の有効性及び安全性を評価する
第Ⅲ相無作為化二重遮蔽プラセボ対照並行群間比較多施設共同試験 (シグマ 眼形成・眼窩・涙道外科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
23. 小野薬品工業株式会社の依頼によるてんかんを対象とした ONO-2017 (cenobamate) の
第Ⅲ相試験 (小野薬品工業 精神神経科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
24. 糖尿病性多発神経障害患者を対象とした ONO-2910 の前期第Ⅱ相試験
(小野薬品工業 糖尿病内科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
25. 株式会社新日本科学 PPD (治験国内管理人) の依頼による類天疱瘡成人患者を対象とした
エフガルチギモド PH20 SC の第 2/3 相試験 (新日本科学 PPD 皮膚科)
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

26. 寒冷凝集素症（CAD）患者を対象として Pegcetacoplan の有効性及び安全性を検討する第Ⅲ相、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同試験（シクラー血液内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
27. 武田薬品工業株式会社の依頼による慢性炎症性脱髄性多発根神経炎患者及び多単性運動ニューロパチー患者を対象とした TAK-771 の第Ⅲ相試験（武田薬品工業－神経内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
28. 抗 CD38 モノクローナル抗体及びレナリドミドを含む 1～3 ラインの前治療歴がある再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象に、teclistamab 単剤療法と、ポマリドミド、ボルテゾミブ及びデキサメタゾン（Pvd）又はカルフィルゾミブ及びデキサメタゾン（Kd）併用療法を比較する第Ⅲ相ランダム化試験（ヤンセンファーマー血液内科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
29. 網膜静脈閉塞による黄斑浮腫における高用量アフリベルセプトの有効性及び安全性（バ イエル薬品－眼科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
30. 協和キリン株式会社（治験国内管理人）の依頼によるアトピー性皮膚炎患者を対象とした AMG 451 単剤療法の第Ⅲ相試験（協和キリン－皮膚科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認
31. ナルコレプシー患者を対象とした治験薬の有効性及び安全性を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第Ⅲ相試験（アキュリスファーマー睡眠科）
安全性情報等の概要について説明があり、治験実施の継続の妥当性について審議した。
審議結果：承認

○報告事項

I 迅速審査実施分について

1. ナルコレプシー患者を対象とした治験薬の有効性及び安全性を評価する無作為化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第Ⅲ相試験（アキュリスファーマー睡眠科）
目標症例数の追加について報告があり、了承した。

- 慢性（非活動性）甲状腺眼症の日本人患者を対象に HZN-001 の有効性及び安全性を評価する第Ⅲ相無作為化二重遮蔽プラセボ対照並行群間比較多施設共同試験

(シミック眼形成・眼窩・涙道外科)

目標症例数の追加について報告があり、了承した。

Ⅱ 治験の終了について

- シミック株式会社の依頼によるクローン病患者を対象とした Filgotinib の継続投与試験

(シミック消化管内科)

治験の終了について報告があり、了承した。

- 糖尿病性腎臓病患者を対象とした RTA 402 (Bardoxolone methyl) の第Ⅲ相試験

(協和キリン腎臓・リウマチ膠原病内科)

治験の終了について報告があり、了承した。

- 中外製薬株式会社の依頼による網膜静脈分枝閉塞症患者を対象とした Faricimab の第Ⅲ相試験

(中外製薬－眼科)

治験の終了について報告があり、了承した。

- 中外製薬株式会社の依頼による網膜中心静脈閉塞症又は半側網膜静脈閉塞症患者を対象とした Faricimab の第Ⅲ相試験

(中外製薬－眼科)

治験の終了について報告があり、了承した。

- 大塚製薬の依頼による急性期の統合失調症患者を対象としたブレクスピプラゾール週 1 回製剤 (QW 製剤) の第 3 相試験

(大塚製薬－精神神経科)

治験の終了について報告があり、了承した。

- 大塚製薬の依頼による統合失調症患者を対象としたブレクスピプラゾール週 1 回製剤 (QW 製剤) の長期投与試験

(大塚製薬－精神神経科)

治験の終了について報告があり、了承した。

Ⅲ 新たな安全性情報について

- 中外製薬株式会社の依頼による網膜静脈分枝閉塞症患者を対象とした Faricimab の第Ⅲ相試験

(中外製薬－眼科)

新たな安全性情報について報告があり、了承した。

- 中外製薬株式会社の依頼による網膜中心静脈閉塞症又は半側網膜静脈閉塞症患者を対象とした Faricimab の第Ⅲ相試験

(中外製薬－眼科)

新たな安全性情報について報告があり、了承した。

3. 大塚製薬の依頼による急性期の統合失調症患者を対象としたブレクスピプラゾール週1回製剤（QW製剤）の第3相試験
(大塚製薬－精神神経科)
新たな安全性情報について報告があり、了承した。
4. 大塚製薬の依頼による統合失調症患者を対象としたブレクスピプラゾール週1回製剤（QW製剤）の長期投与試験
(大塚製薬－精神神経科)
新たな安全性情報について報告があり、了承した。

IV 前回委員会までの新規申請審議での指摘事項の改善について

1. 日本人のBCG不応性高グレード筋層非浸潤性膀胱癌（NMIBC）患者に対するFE999326の膀胱内注入療法における安全性及び有効性を評価する第Ⅲ相オープン試験
(フェリソグ・ファーマー泌尿器科)
新規申請審議時に指摘のあった説明文書と同意書、妊娠追跡調査に関する説明文書と同意書の改善箇所について報告があり、了承した。

※治験審査委員会要綱第7条第4項により、当該治験に関与する委員は審議及び採決には参加していません。